



# 学校だより3月号 チャレンジスクール

始良市立山田中学校

平成30年3月16日

## 主体的に行動できる自分を！（卒業式式辞要約）

校長 森園太介



晴れて卒業証書を手にした11名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。

江戸時代の後期、二度の人生を生きたとと言っても良いような人物がいます。その人の名は伊能忠敬。

歴史の教科書には、「正確な日本地図を作った人」として登場します。忠敬は、17歳で伊能家に養子として入り、衰退していた伊能家を再興しました。50歳になるころ、隠居の身となった忠敬は、幕府の天文方であった高橋至時（よしとき）の弟子になりました。忠敬の第二の人生の始まりです。

忠敬が第二の人生で目指していたのは、地球の大きさを自分の目で確かめたいということでした。できるだけ離れた地点で北極星を観測することで、より正確な緯度1度の距離が分かることを知った忠敬は、幕府に現在の北海道の地図を作成することを願い出ます。忠敬は55歳で測量の旅に出発し、17年間でほぼ全国を回って正確な日本地図を作り上げました。その中で、文化七年（1810年）六月下旬には始良市の海岸一帯を測量したことが記されています。

忠敬は、測量のかたわら天体観測をし、緯度1度が111kmであることを突き止め、これから地球一周の距離を39,960kmと計算しました。これは、現在知られている地球の周囲約40,000kmに対しての誤差は、僅かに1/1000という正確さでした。

正確な日本地図を作成した伊能忠敬の行動力の原点は、地球の大きさを自分で確かめたいという知的的好奇心とその実現に向かって主体的に取り組む姿勢にあったのです。

そのことをふまえて皆さんには、次の言葉を贈ります。

それは、「主体的に行動できる自分を持つ」ということです。

「主体的に行動する」とは、自分で目標をしっかりと定め、正しい判断のもとに責任を持って行動することです。もちろん、独りよがりの利益を求めるのではなく、人のために役立つ行動でなくてはなりません。卒業生の皆さんが、家族や地域にとって頼もしい存在として成長していくことを願い、期待しています。

## 11名が旅立ちました

13日(火)に開催された、第71回卒業式。来賓、保護者、地域の方々など、多数のご列席をいただき、厳粛な中にも暖かい雰囲気のある式を執り行うことができました。本当にありがとうございました。

進路はそれぞれ異なりますが、これからの未来に向けて、大きく羽ばたいてくれることを予感させる、堂々とした卒業生の姿に感動しました。



全校合唱の様子↑



生徒会長の松元海人さんが、送辞を読み上げました。卒業生一人一人が、行事ごとに一生懸命取り組み、後輩を引っ張ってくれたことへの感謝が伝わってきました。

とへの感謝が伝わってきました。

卒業生代表として小川晴斗さんが答辞を述べました。緊張した様子でしたが、3年間のあふれる思いを堂々と伝えてくれました。同級生や後輩に向けて、たくさんのメッセージを残してくれました。



また、告示や祝辞、保護者代表の挨拶なども、心に響くお話ばかりでした。改めて、山田中学校が多くの方々を支えられていることを感じた式となりました。

# これからの行事予定

3月

- 22日(木) ・小学校卒業式
- 23日(金) ・修了式(給食なし)
- 26日(月) ・離任式
- ・PTA送別会(新馬場公民館, 19時~)
- 28日(水) ・新入生学用品引き渡し  
(山田中図書室, 9時~12時)



4月

- 6日(金) ・始業式, 新任式, 入学式(午後)
- 9日(月) ・知能検査(1・3年) 進路適性検査(2年)
- ・身体・視力・聴力検査

- 10日(火) ・標準学力検査NRT(1日目)
- 11日(水) ・標準学力検査NRT(2日目)
- ・家庭訪問(山田・大山)
- 12日(木) ・家庭訪問(山田・下名)
- 13日(金) ・尿検査(一次), 家庭訪問(山田・上名)
- 14日(土) ・土曜授業, 新入生オリエンテーション  
学習に関するオリエンテーション
- 17日(火) ・全国学力・学習状況調査(3年)  
心臓検診(1年)
- 18日(水) ・家庭訪問(北山)
- 19日(木) ・交通教室



## 卒業生記念品紹介



第71回卒業生から、たくさんの卒業記念品をいただきました。11名それぞれが気に入っている本、紹介したい本などを、図書室に寄贈してくれました。また、各学級に置くための「新例解国語辞典」も贈ってくれました。これからの読書や学習が、さらに充実していきますそうですね!!本当にありがとうございました。

## ボランティア認定証授与



始良市内の小・中・高校生を対象に、始良市社会福祉協議会からボランティアポイントカードが配布されています。ボランティア活動をして、10ポイント貯めると認定証が発行されます。先日、その認定証の授与式が行われました。3年山内颯馬さん、1年山内海渡さんの兄弟に授与されました。本人たちは、何か特別なことをした、という気持ちはなく、いつも通り地域の活動に参加して認定された様子でした。みなさんも、気負わず、ちょっとしたボランティアを、継続的に取り組めるといいですね!

## 交流給食で楽しく食事

9日(金)は、学級を解いて、3学年交流給食を行いました。小学校との交流給食は行っていますが、校内での交流は意外とありません。そこで、生徒会役員が企画をし、全校生徒縦割りで給食を食べることにしました。卒業間近の3年生と楽しく会話しながら、いつもと違った雰囲気です。

本校は、毎日残食がほぼゼロ。気持ちよく最後まで食べてくれている、と給食室の先生方からも、お褒めの言葉をいただいています。いつもなら食欲旺盛なみんなですが、この日のおかわりは3年生優先。給食も終わりなんだ、と少し寂しそうでした。



## 同窓会入会式がありました

卒業式予行の前に、同窓会入会式が行われました。同窓会副会長を務める、料木 証さんにお越しいただきました。この山田中を卒業したことに自信と誇りをもち、これからの社会で活躍してほしい、失われたものを嘆くより、あるものを生かして、命を大切に力強く頑張してほしい、というお言葉をいただきました。

また、富田 優利さんが「山田中学校の卒業生として、自信と自覚をもって会の発展に尽力します」と同窓会入会誓いのことばを述べました。

学校長からは、山田につながるのがある人たちのあつまりとして、同窓会を盛り上げてほしいこと、これからさまざまな進路で活躍するが、ここ山田中を巣立ったことを忘れず頑張してほしい、という激励のことばがありました。

約四千人の同窓生の一員として、これからも、たゆまぬ努力を続けてください。

